

# 放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）

放課後等デイサービス事業所  
わかば

R6.3

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			相談室も利用できるようにし、活動スペースや居場所が十分確保できるようにしています。
	②職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			加配の職員を配置しています。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			新しい建物はバリアフリーの造りになっています。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			計画の中に、支援者としての心構えや個別の支援を組み入れ、共通理解しながら取り組んでいます。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		アンケート調査だけでなく、面談等で保護者の意向を伝えてもらいながら、改善につなげていきたいと考えています。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページで公開しています。5月頃更新しています。
	⑦第三者による外部評価を行い、業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在第三者による外部評価は行なっていません。
	⑧職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			可能な限り、研修会に参加し、資質向上を目指しています。
適切な支援の提供	⑨アセスメントを適切に行ない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			月1回のケース会議で子どもの支援や課題について話し合い、保護者との面談も踏まえた上で、個別支援計画を作成しています。
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		現在は、事業所独自のアセスメントシートを使用しています。
	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			職員が順番に計画を立てています。その計画を元に職員で話し合い、支援にあたっています。
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			季節の行事を取り入れたり、目的に合わせて活動内容を工夫したりしながら計画を立てています。
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			子どもの特性を考えながら、子どもに合った活動や経験ができるように努めています。
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別の支援と集団活動をバランスよく組み合わせながら支援を考えています。
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			その日の活動計画について、職員全員で確認し、話し合いながら支援にあたっています。
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	<input type="radio"/>			必ず振り返りを行い、必要な支援について考え、共有しています。
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			正しい記録の取り方を確認、共有しながら、支援の見直しにつなげていきたいと思えます。
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			6ヶ月に1度モニタリングを行い、今後の支援や目標について見直しています。
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	<input type="radio"/>			いろいろな活動が経験できるように意識しながら活動計画を立て支援しています。

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎に関しての連絡調整は必要に応じて行っています。
	㉒医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療的ケアの必要な児童はいません。
	㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援員さんが仲介してくれて、情報共有ができるケースも稀にありますが、ほとんどは情報共有の機会がないままです。
	㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしているか	○			できる限り支援内容を引き継げるように努めています。移行先によっては情報提供がスムーズにできない場合もあります。
	㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じ、相談支援員さんに仲介をお願いしていきます。また、センター主催の研修会があれば参加していきたいと思います。
	㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後、子どもたちが無理なく交流できる方法を考えていきたいと思います。
	㉗(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			ワーキンググループのメンバーとして参加しています。
	㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃から、気づいたこと等を話す機会を設けています。保護者の方からの相談も受け、共通理解ができるように努めています。
保護者への説明責任等	㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングはわかばでは行っていません。保護者の話を聴き、一緒に対応方法を考えていきたいと思います。
	㉚運営規程・支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			説明は契約時に行っていますが、不明な点はいつでも問い合わせさせていただきたいです。
	㉛保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お話を聴き、必要な助言や支援ができるように努めていきます。
	㉜父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会は年に1回ですが、なるべく多くの方に参加いただき、保護者同士のつながりができる機会になればと考えています。
	㉝子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応するように心がけています。苦情解決の対応については、契約時にお渡しした重要事項説明書に記載しています。
	㉞定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人の草の根わかばたより、月ごとのわかば通信や活動予定等でお伝えしています。
	㉟個人情報保護に十分注意しているか	○			職員に周知し、意識して取り組んでいます。
	㊱障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	○			絵カードやサイン、字で伝える、実物を示すなど、分かりやすく伝わる方法を考えながら配慮をしています。
㊲事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今年度は、草の根夏まつりが開催され、多くの方にご参加いただきました。	

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⑧緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		策定していますが、周知に関しては十分ではないです。保護者には、警報時の対応、大地震の対応についての用紙を配布しています。
	③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年に1回、全員が参加できるように1週間続けて行っています。
	④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年職員全員で研修を受け、意識をもって関わることを確認しています。
	④⑪どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		やむを得ず身体拘束を行う場合について、事業所で話し合い、個別支援計画に記載していくことを決めました。面談の時に説明していきます。
	④⑫食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		フェイスシート、保護者からの情報で確認、対応しています。
	④⑬ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットは対策について話し合い、事業所内で共有し再発防止に努めています。